

会 議 録		令和 3 年 7 月 9 日 作成	令和 7 年 3 月 末 日 廃 棄
会議名	京都府右京警察署協議会（令和 3 年度第 1 回）		
開催日	令和 3 年 7 月 9 日（金曜日）		
時 間	午前10時10分から午前11時40分までの間（90分）		
場 所	京都府右京警察署道場		
出席者	卯瀧会長、東副会長、吉岡委員、吉田（佳）委員、芦田委員、田中委員 内藤委員、田淵委員、吉田（宗）委員 （欠席 太田委員、神内委員、人見委員、ライト委員 4 人） 計 9 人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、 地域課長代理、刑事課長、刑事課長代理 2 人、交通課長、警備課長、 広聴相談係長 計13人		
諮 問 事 項	管内情勢（交通事故と犯罪発生状況）について		
会 議 内 容	1 会長・副会長選任（委員互選） 2 委嘱状交付 司会 副署長 3 会長・副会長就任挨拶 4 警察署協議会委員自己紹介 5 警察署長挨拶 6 警察署幹部紹介 7 協議 司会 副会長 令和 2 年度第 4 回警察署協議会答申に対する取組状況 （引き続き、分かりやすい警察白書の作成と、府民にとってより一層伝わりやすい広報啓発活動に心掛けてほしい） 【警察】 右京警察白書については、防犯協会や交通安全協会の会員、行政関係機関に配布したほか、防犯教室や交通教室で配布した。また、数に限りがあるので、京都府警察公式のフェイスブックとウェブサイトにてデータ化して掲載した。 右京警察白書に限らず、当署では、広報啓発活動として、各交番が作成するミニ広報紙等を作成する際は、タイムリーな情報発信と見や		

すいレイアウトを心掛けるほか、SNSや動画を活用した活動を行っていききたい。

【委員】右京警察白書は交番でも受け取れるのか。

【警察】交番では配布していない。全世帯に配布できれば良いが、数に限りがあることから、データ化したものを京都府警察のウェブサイトに掲載している。

【委員】この警察白書は、府下全署で作成しているのか。また、右京署はいつから作成しているのか。

【警察】全署では作成していないと承知している。また、内容やページ数についても各署様々である。当署では、5～6年前から作成している。

【委員】年々クオリティが上がってきているように思う。

8 諮問事項

管内情勢（交通事故と犯罪発生状況）について

【委員】車と自転車の事故が増加しているとの話であったが、私は、京北地区に住んでおり、車を運転中にロードレーサータイプの速度が速い自転車に怖い思いをしたことがある。

ロードレーサータイプの自転車に対し、注意をしていないのか。

【警察】2年前、京北地区と京都市内を結ぶ国道162号線で死亡事故が発生したことから、自転車を含む二輪車が増えるゴールデンウィークや夏休み期間に、取締りを徹底している。また、道の駅「ウッディー京北」でも二輪車のドライバーに広報活動を徹底した。

今後も時期を捉えて二輪車の交通事故防止に取り組んでいく。

【委員】最近では、ロードレーサータイプ以外にも、いわゆるママチャリタイプの自転車も国道162号線を走行している。

【委員】国道162号線は重傷の交通事故が発生することが多いので、是非、対応してほしい。

【委員】一昨年は、7件の交通死亡事故があり、この場で対応についてお願いしたことから、昨年は国道162号線では交通死亡事故はなかった。今後もしリバウンドがないように活動をお願いしたい。

【委員】横断歩道を渡ろうとしても車が止まってくれない。止まるのは全体の1割程度ではないか。横断歩道は歩行者優先だと思うが、警察の見解を聞きたい。

【警察】京都府警察では、現在、「手挙げ横断」の指導を行っており、また、歩行者妨害等の交差点関連違反の取締りも積極的に行っている。夏の交通事故防止府民運動では、信号のない横断歩道でも停止するようドライバーの意識を変える啓発活動を行いたい。

【委員】子供が関わる犯罪について、被疑者や被害者の状況を教えていただ

会 議
内 容

きたい。

【警察】未成年や児童が関わる犯罪は、自転車盗の被疑者や被害者になることがあるものの、全体の中では多くはない。少年の検挙人員も年々減少している。

気がかりなところは、万引きの低年齢化が進んでいることだ。

【委員】個人が特定されないことが前提だが、万引きが低年齢化していることを広報していただきたい。また、未成年に特化した情報提供もお願いしたい。

【警察】少年犯罪の発生件数については、既に公表しており、件数であれば情報提供を行うことができる。

【委員】配布された刑法犯認知件数と統計資料の中で、知能犯というのはどういった犯罪なのか。

【警察】詐欺や横領等の手口のことである。

【委員】特殊詐欺については、本年は9件発生し、そのうち6件が、高齢者が大切に貯めた預貯金が狙われているとのことであるが、歯がゆい思いだ。

未だに被害がなくならないが、新たな手口が増えたのか。

【警察】以前は振り込ませる手口が多かったが、最近はキャッシュカードの手交型やすり替えが増えている。また、コンビニエンスストアで電子マネーを購入させ、シリアル番号を聞き出す手口も増加している。

【委員】以前の会議で、「詐欺に注意」と記載した名刺サイズの交番速報を電話機のケーブルに引っ掛け、通話中に目につくような取組を紹介していただいた。意識を高め、注意喚起するのに良いアイデアだった。

【委員】刑法犯認知件数の統計では、3月と6月に増加しているが、何か原因があるのか。

【警察】人の動きが多くなることが原因ではないかと思われる。3月は学生の卒業や入学シーズン、6月は夏休み前ということで人が多く動くからではないかと思料される。

【委員】配布された刑法犯認知件数の統計資料の中で、強盗や暴行といった犯罪はどう分類されるのか。

【警察】強盗は凶悪犯、暴行は粗暴犯として分類している。

【委員】巡回連絡では、どういった内容を聞くのか。また、どの程度の頻度で行うのか。

【警察】家族構成、非常時の連絡先、相談や困りごとなどを伺っている。

緊急事態宣言中は巡回連絡を控えていたが、年1回以上各家庭を訪問することを目標としている。

【委員】住民は自宅で過ごしていることから、今まで以上に在宅していると

会 議
内 容

思うが、コロナ禍で警察が巡回連絡をできないというのは課題だと思う。

【警察】巡回連絡を行う場合、短時間の対応としたり、巡回連絡に応じていただけるのかなど、住民の意向を確認をした上で実施している。

【委員】先日、警察官が自宅に巡回連絡に来られたが、予期せぬ訪問であり詐欺ではないかと身構えてしまった。あらかじめ、この期間に訪問すると告示しても良いと思う。また、警察官がこういった訪問活動をしてくれることで安心につながっていると思った。

【委員】先日、警察官が職場に広報啓発のチラシを持って来てくれた。制服の警察官と近くで接すると、社内は良い意味で刺激になった。

【委員】私は消防職員だが、火災や災害現場において、警察が非常の連絡先を把握しており、迅速に連絡を取れるのでありがたい。引き続き強固な連携をお願いします。

【委員】住民としては、警察と消防が連携を密にし、情報共有してくれると本当に心強い。

【委員】防犯メールを登録しているが、不審者や変質者が出た時などはパトロールをしているのか。

【警察】被害に遭われた方の中には、すぐに警察に通報せず、帰宅してから保護者や学校の先生に相談した後、通報してくることも多いがいずれの場合も発生場所、発生時間帯にはパトロールを強化するとともに、警察内で情報共有をし、被疑者検挙に向け取り組んでいる。

【委員】コロナ禍で犯罪が減っていると感じる。今後、まん延防止等重点措置が解除となり、外出する人が多くなるのではないかな。

【委員】町内で防犯ボランティアに関わっているが、緊急事態宣言中はパトロール等の活動ができなかった。コロナ禍の影響を受け、思うように活動ができずに、気持ちと行動がなかなか一致しないところがある。

【委員】防犯ボランティアとは、こういった種類があるのか。

【警察】当署管内は防犯ボランティアの活動が非常に活発で、防犯推進委員、子ども安全見守り隊、青色防犯パトロール車の運行や少年補導委員等の多くのボランティアの皆さんに活動をしていただいている。

【委員】警察からボランティアに活動を働き掛けるのか。

【警察】ボランティアは地域の防犯は自分たちで守るという自主防犯が根幹にあるが、警察から働き掛けることもある。明日（7月10日）の「府民防犯の日」は、警察とボランティアと一緒に啓発活動を行うこととしている。

【委員】以上述べたとおり、まとめとしては、

アフターコロナを見据えた警察業務と横断歩道の交通安全対策

会 議
内 容

を答申とする。

以上

第1回京都府右京警察署協議会の開催状況

